

合併実現の計画を示せ

計画を示す段階にない



阿野 二郎 議員

昨年の11月に実施された大崎町の市町村合併に関する住民アンケート結果で、志布志市との合併が52%だったことから町長は志布志市との合併を目指したい。それも新合併特例法の期限内として

いるだけで具体的な計画を示していないが、合併実現までの展望をどのように計画しているのか。

計画を示す段階にない

町長

現在まで相手方と会う日程の設定に努力してきたので、展望という具体

的な計画はお示しできません。新合併特例法の期限の平成22年3月までという事になっている。

今後ある程度の協議事項等、日程は固まってくると思うが、現段階ではまだそこまでつめていない。

納得する計画を示すべき

阿野議員

町長はリーダーとして確かな計画を立案するべきで、平成22年3月の新合併特例法の期限内と、いつても何も根拠がなく、住民には納得しがたい。はっきりと具体的な計画を示すべきではないか。

市長との話し合い

町長

3月29日に志布志市長と合併に関するアンケート調査のことで面会して説明をすることになっているので、その時の説明を大切にし、いろいろな勉強して計画を立てていきたいと思っている。

意見の取り扱いは

阿野議員

アンケート調査の中に「あなたのご意見をお聞かせください」という欄を設けていたが、その結果についてどのような取り扱いをするのか。

合併協議へ反映させる

町長

多種多様な意見をいただき貴重な意見として大切にしながら、今後進めていく協議の中で大崎町の意見として反映させ、少しでも多くの町民の皆様に合併してよかったと思ってもらえる合併の実現に向けて努力していく。

結果の公表はするのか

阿野議員

アンケートの意見については集計の途中のことだが、集計終了の時点で公表する考えはあるか。

議会には示したい

町長

分析が多くて作業が進んでいない状況で、作業が終わり、まとめができれば議会の皆様にはお示ししたい。

「仲良しベンチ」の設置はできないか

阿野議員

健全な育成を図るための環境づくりとして、児童・生徒・教師が休み時間や放課後に読書や語らう場として利用できる「仲良しベンチ」の設置の必要性を感じるが、その考えはないか。

今から考えていない

教育長

子供達は図書室や教室

のほか多目的スペースなどそれぞれ気に入った場所読書したり、友達と話をしたりしており、また、授業の間の休み時間は次の授業の準備等に費やし、昼の時間も給食や作業時間はさんでの休憩時間である。外に出て読書をしたり、語らいつする余裕はないのではと考えられるので、今のところ新たに経費をかけて設置する考えは持っていない。



寄贈のあったベンチでくつろぐ子供達